

事務事業名		栃木県公立学校施設整備期成会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり					担当係	学校施設係	担当課長名	吉田 重弥	
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 安全で快適な学校施設の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	12443	一般	10	1	2	栃木県公立学校施設整備期成会参画事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	44年度～ 年度		根拠法令 条例等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律					
	実施方法		直営								
	事業分類		参画事業								
	リーディングプロジェクト		該当なし								
市長マニフェスト		該当なし									

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
栃木県公立学校施設整備期成会に会員として負担金を支出している。また、期成会主催の会議や研修会に参加することにより、学校施設整備に関する情報収集や意見交換を行っている。 ※栃木県公立学校施設整備期成会は市町長、教育長、県教育委員会事務局等で構成されており、国への要望活動により、公立学校施設整備促進を図るため、必要に応じて国会及び政府に対する要望活動を実施する。			平成24年度から市長が期成会の会長であり、6月に那須塩原市を会場に定期総会が開催され、県及び県内市町より関係者約30名が出席した。総会終了後、那須塩原小中学校の施設見学が実施された。 11月に学校施設の安全性向上等の研修に出席した。								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
会議、研修会数			回	2	2	2	2	2			
会議出席者数			人	8	1	2	2	2			
研修会参加者数			人	2	2	2	2	2			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
身体に障がいがある児童			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
対象職員数(この期成会の範囲で関係する対象職員数)			人	5	4	4	4	4			
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
① 学校施設整備についての他市の状況や最新情報を得る。 ② 学校施設整備についての技術向上を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
期成会参画が有意義であると回答した職員の割合			%	100	100	100	100	100			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
校舎、体育館の耐震化を高め、遊具の安全性が保たれている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
学校施設の耐震化率			%	83.04	90.18	100	100	100			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	4	4	4	4	4					
	事業費計(A)	千円	4	4	4	4	4					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	4	負担金	4	負担金	4	負担金	4	負担金	4
	人件費	人	1	1	1	1	1					
のべ業務時間	時間	5	5	5	5	5						
人件費計(B)	千円	19	20	20	20	20						
トータルコスト(A)+(B)	千円	23	24	24	24	24						

事務事業名	栃木県公立学校施設整備期成会参画事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	学校施設係
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和44年に学校施設の整備促進を図るため、県内市町の学校施設管理者が情報交換をすることにより、国会及び政府に対する要望活動を実施し、整備に必要な財源の確保をすることで、学校施設環境の質的向上に寄与する目的で、栃木県公立学校施設整備期成会が創設され、佐野市も参画した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	開始時期に比べ、現在は、学校の整備が図られていない。国、県、市町の財政が硬直化している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市職員には、現状のまま、会議において他市町の施設整備状況などの情報交換が出来ており、妥当である。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	会議出席により、国の補助に関する情報や、他市の教育施設整備に関する情報が得られ、安全で安心な学校施設の整備が図られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	栃木県公立学校期成会の事務局である栃木県教育委員会は、全国期成会の会員として組織を維持していく方針であり佐野市のみ脱退することは出来ないと思われる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	会議において、他市町の施設整備状況などの情報交換が出来ており、見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	参画事業であり、期成会の活動自体が会議や年2回研修会等に絞られており、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	期成会の活動は、年に1回の会議、2回の研修会と限られ、人件費を削減する余地がないと考える。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	公立学校を設置した市町からの負担金で会の運営が成り立っており、また、会の目的が公立学校の整備であり、適正であると考え。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	期成会が解散した場合は、終了。期成会が休止すれば、休止となるが、他市町の施設管理者との情報交換が出来なくなり、他市町との連携が取れなくなり、廃止は困難と考える。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			